

**憲法しんぶん 速報版**  
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007  
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年11月22日 (木)

NO. 911号

本号3頁

## **19日議員会館前行動 雨が降るなか2200人が、 「改憲発議必ず止めよう」と声をあげる！**

総がかり行動実行委員会と「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」は、19日、暴走する安倍政権に市民と野党が力をあわせて立ち向かおうと、国会議員会館前で毎月開催している「19日行動」行動に取り組みました。臨時国会で初の行動には、雨が降るなか2200人が参加し、「改憲発議必ず止めよう」と声をあげました。

開会前には、「なりぞうさん」のプレコンサートがあり、「イメージン河」「真実は沈まない」を歌い、盛り上がるなかで集会がスタートしました。

主催者あいさつした共同代表の高田健さんは、改憲に反対する世論とたたかいによって与党がねらう憲法審査会を開かせていないと指摘し、「改憲をしたいのは安倍首相と自民党だけです。国会内外の共闘を強め、さらに安倍政権を追い詰めよう」と訴えました。



駆けつけた立憲民主党、日本共産党、無所属の国会議員があいさつ。共産党の山下芳生副委員長・参院議員は、自衛隊の前や国会の場で改憲発言を繰り返す安倍首相に対し、「憲法尊重擁護義務、三権分立を踏みにじています。憲法がわからない安倍首相に、憲法を変える資格はありません」と強調。市民と野党が力をあわせれば、必ず政治は変えられるとのべ、「ぜひ後押しをお願いします」と呼びかけました。

次に、市民の代表がスピーチ。法政大学教授の上西充子さんは、まともな答弁をしない政府・与党の姿を映像で知らせる「国会パブリックビューイング」の取り組みを紹介。「どの問題にも共通している安倍政権のダメさを多くの人に分かってもらいましょう」と述べました。さらに、違憲訴訟をたたかっている仲間、沖縄の新基地建設阻止をめざして奮闘している仲間、さらに、「11・26 オール埼玉総行動実行委員会」の秋山敦子さんがたたかいを報告し、安倍政権打倒を訴えました。

## **「職場放棄」発言の自民党下村憲法改正推進本部長 憲法審査会の「委員」も外される！**

自民党の下村憲法改正推進本部長が、衆議院憲法審査会をめぐる野党側の姿勢を「職場放棄」と批判し、野党側が反発したことを受けて、審査会の開催に向けた環境を整えたいとして、審査会の幹事だけでなく委員からも外されました。

下村氏は、衆議院憲法審査会をめぐる野党側の姿勢を「職場放棄」と批判し野党側が反発したことを受けて、審査会の幹事就任を辞退しましたが、委員は続ける意向を示していました。これにつ

いて、国民や野党からは厳しい批判が出されていました。たとえば、国民民主党の玉木代表が「下村氏が委員に残るのは反省していない表れではないか」と批判していました。

これに対して、自民党は、野党側が憲法審査会の開催に応じる環境を整えたいなどとして、下村氏を審査会の幹事だけでなく委員からも外し、代わりに木原稔・前財務副大臣を充てることを決めました。

これを受けて、自民党は22日に憲法審査会を開きたい考え、21日に幹事懇談会の開催を呼びかけましたが、集まった自民、公明、維新の会だけで、開催できませんでした。野党幹事らは先日の20日の会談で、22日の開催に応じるのは困難だとの認識で一致していました。入管法改正案を巡る与野党対立が激化しており、山花郁夫・野党筆頭幹事（立憲民主党）は記者団に「開く状況ではない」と語っています。結局、22日も開催されませんでした。



## **臨時国会での憲法審査会開催阻止に向けた FAX要請行動を展開しよう！**

下村氏は内定していた衆院憲法審査会の幹事を辞退し、さらに自民党は下村氏を委員から外すことを決めました。しかし、自民党は289の小選挙区ごとに「憲法改正推進本部」を今年中に設置する方針を掲げ、何としても憲法審査会を動かそうと継続審議となっている国民投票法案の臨時国会での審議を繰り返し野党に呼びかけ、また21日には与党の幹事懇の開催を企てるなど、必死です。

このようなもとの、自民党の改憲案の提示を許さず、改憲論議を許さないために、憲法審査会を開催させないたたかいが求められています。先の通常国会で衆院憲法審査会では、たった3回十数分の開催しか許しませんでした。そして、今国会でも8日、15日、そして本日の22日もは衆院憲法審査会の開催を許していません

世論調査では、多くの国民が「憲法改正には反対」「臨時国会での国会発議に反対」との意思を示しています。国民とともに、臨時国会での憲法審査会の開催を阻止するたたかいを強めましょう。

そのたたかいの一つとして、憲法会議は、野党役員や衆参憲法審査会委員への憲法審査会開催しないことを求めるFAX要請に取り組むことを呼びかけます。

### **◇要請内容（参考）**

- ①野党の党役員・憲法審査会委員には、
  - ・今臨時国会での憲法審査会の開催を全力で阻止してください。
  - ・国民投票法の改正も今急ぐものではなく、むしろ改憲議論に導き入れるものであり、継続となっている改正案は廃案にすべきです
  - ・野党は結束して、広範な市民と共に頑張りましょう。
- ②与党の党役員・憲法審査会委員には、
  - ・今臨時国会で憲法審査会の開催を国民は望んでいません。開催しないでください。
  - ・国民の多くが憲法改正に反対です。憲法改正は断念してください。
  - ・今臨時国会での自民党の憲法改正案の提示、国会発議は辞めてください。

等と、それぞれの思いを伝えましょう！

※3000万人署名の要請項目の 1. 憲法第9条を変えないでください。 2. 憲法の平和・人権主義が生かされる政治を実現してください。 も重要です

### **◇要請相手 可能な範囲でFAXを送りましょう！**

#### **◇野党役員名簿・FAX番号**

立憲民主党	代表 枝野幸男 FAX03-3591-2249
	衆院憲法審査会幹事 山花郁夫 FAX03-3508-3894
	参院憲法審査会幹事 白眞勲 FAX03-6551-1116
国民民主党	代表 玉木雄一郎 FAX03-3508-3213
	幹事長 平野博文 FAX03-3508-3050

日本共産党	委員長 志位和夫 FAX 03-3508-3735
	書記局長 小池晃 FAX 03-6551-1208
無所属の会	代表 岡田克也 FAX 03-3502-5047
	幹事長 大串博史 FAX 03-3508-3428
自由党	代表 小沢一郎 FAX 03-3508-3605
	代表 山本太郎 FAX 03-6551-0302
	幹事長 森ゆう子 FAX 03-3551-0304
社民党	党首 又市征治 FAX 03-6551-0906
	幹事長 吉川元 FAX 03-3508-3856

#### ◇与党役員名簿・FAX番号

自民党	総裁 安倍晋三 FAX 03-3508-3602
	幹事長 二階俊博 FAX 03-3502-5037
	憲法改正推進本部長 下村博文 FAX 03-3597-2772
公明党	代表 山口那津男 FAX 03-6551-0806
	幹事長 斉藤鉄夫 FAX 03-3501-5524

#### ◇衆参憲法審査会委員名簿

○憲法会議のホームページに掲載しますので、ご活用ください。  
 ○衆参憲法審査会の幹事は決まっていませんので、「委員」に要請しましょう。

**※さらに、地元の国会議員・事務所への要請行動も大きな力になります。地域の3000万人署名に取り組む仲間と相談して取り組みましょう。**

## 各地のとらき

### **大阪** 大阪損保革新懇、木村氏招き講演会開催 143人が参加！

大阪損保革新懇は13日、結成20年記念行事として、木村草太首都大学東京教授を招き、「憲法と私たちの未来—職場、社会で憲法を『実現』していくために」を開き、143人が参加しました。基調報告を行った松浦章世話人（兵庫県立大学客員教授）は、「損保産業の社会的責任を問い続ける」と題し、報告。災害対応などで補償機能を持つ損害保険会社が「株主至上主義」に走り、社会的役割を取り戻すためには、日本損害保険協会の行動規範「人間尊重の原則」に立ち、従業員と代理店を大切にかるべきだ」と強調しました。

記念講演で、木村氏は日本国憲法を「法の下での平等と差別の禁止」「憲法24条の意味」「身近な人権問題を考える」の三つのテーマで掘り下げました。国家権力は差別をしてはならず、「差別をしたいのであれば、議員バッジを外すべきだ」と差別をあおり、居直り続ける自民党の杉田水脈議員を批判。最後に身近な人権問題を考え、声を上げることが大切だと呼びかけました。

損保代理店問題を国会で最初に取り上げた、日本共産党の大門実紀史参院議員が連帯のあいさつを行いました。

### **徳島** 「安倍政権は不安です。戦争は嫌、9条を守ってほしい」と署名

徳島憲法共同センターは、19日、徳島市の徳島駅前では安倍9条改憲に反対する3000万人署名への協力を呼びかける宣伝・署名行動を行いました。

リレートークで徳島県商工団体連合会の伊藤功事務局長は、「国民が望むのは、社会保障、年金などくらしの充実であり、憲法改正ではない」と強調しました。県労連の森口英昭事務局長は、集团的自衛権を容認して戦争法を強行した安倍政権を批判し、日本共産党の上村恭子県議は「戦争する国づくりストップに全力を尽くす」と表明しました。

署名した市内の80歳の女性は「安倍政権は国民の生活がわかっていない。早く代ってほしい」と述べ、美波町の62歳の女性は「安倍政権は不安です。戦争は嫌、9条を守ってほしい」と語りました。